

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和1年6月25日から令和1年11月29日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 60741 B18055	

2 福祉サービス事業者情報（令和1年9月現在）

事業所名： （施設名）長野市安茂里保育園	種別：保育所	
代表者氏名：市長 加藤 久雄 （管理者氏名）保育・幼稚園課次長 広田 貴代美	定員（利用人数）：125（100）名	
設置主体：長野市 経営主体：長野市	開設（指定）年月日： 昭和49年4月1日	
所在地：〒380-0952 長野市宮沖3096-3		
電話番号： 026-228-6075	FAX番号： 026-228-6075	
ホームページアドレス： http://www.city.nagano.nagano.jp		
職員数	常勤職員：25名 非常勤職員：9名	
専門職員	（専門職の名称）	
	園長 1名	保育士 9名
	保育主任 1名	
	保育士 18名	
	調理員 4名	
	看護師 1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（屋外遊具）
	乳児室 1室	三間庭鉄棒
	ほふく室 2室	
	保育室 6室	
	遊戯室 1室	
	調理室 1室	
	事務室 1室	
	便所 4室	

3 理念・基本方針

【保育理念】

こどもの健やかな心身の発達を図り、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。
○児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもを保育することを目的とする。

○子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。

【基本方針】

- 安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を十分発揮できるようにします。
- 専門の資格を持った職員が養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。
- 保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。
- 家庭と連携を図りながら、子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、地域における子育て支援の拠点として、社会的役割を果たします。
- 保育を実践するにあたっては、「全体的な計画」に基づき、一貫性をもって子どもの実態に応じた柔軟な保育を展開します。

【保育園目標】

げんき あもりっこ！ 「やってみよう」「かんがえてみよう」「とことんあそんでみよう」

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

長野市市街地の西部に位置し、安茂里駅から徒歩5分の静かな住宅地にある。平成27年6月に新築され木がふんだんに取り入れられた園舎となっている。安茂里保育園のキャラクター“あもりん”を大切にしている。安茂里地区の自然から「頭は芽吹き、葉っぱ」「手があんず」「足は青空」「体は太陽」「ハートは園庭の桜」の意味があり未満児から幼児まであんず・桜・太陽・木々の芽吹き・空をイメージできるようにしている。

「信州やまほいく」認定を受け自然保育の充実を図り、感性豊かな心を育み自己肯定感を高め、次なる意欲に繋げる保育を目指している。毎日園外に出かけ、周囲の自然の中での活動を通して、足腰を鍛えている。住宅地の周りには畑や足を延ばせば林などがあり、四季の変化を感じたり、全身を使って遊びを楽しんだりすることができる。また、異年齢で関わりながら自然を取り入れる保育をしている。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	今回初受審
---------------	-------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

①安茂里保育園の「あもりん」を大切にし地域に根ざした保育

安茂里地区の自然から生まれた「あもりん」を大切にされた保育が行われている。保育目標では「げんき あもりっこ」やってみよう！ 考えてみよう！ とことんあそんでみよう！とし地域に根ざした保育を実践している。また「あもりん」のキャラクターや「あもりん体操」は保護者にも根付いている。3歳児、4歳児、5歳児混合編成での縦割り保育や給食時にお誕生日放送がされ、インタビューで園児の将来の夢が発表され自信につながっている。園庭の固定遊具は少ないが紙パックを利用した新幹線列車など独創的な遊びがいたるところに活かされている。また「おひさま広場」による未満児と保護者対象の園開放及び子育て支援を積極的に行っており、地域に根ざした保育を行っている。

②自然を取り入れた「信州やまほいく」の取り組み

「信州やまほいく」は幼児期の子どもを対象に、屋外での遊びや運動を中心に様々な体験を深め、知力と体力も同時に高めることができる新しいスタイルの保育・幼児教育で多様な自然や地域の環境を生かした活動を通じて、子どもたちの知的好奇心や感性が豊かに育まれ、さらに異年齢の集団活動の中でコミュニケーションや社会性、自尊心や自己肯定感の向上が期待できる保育として長野県が推奨している。

安茂里保育園では犀川神社、土手方面など地域の自然を生かし、子ども自身が発見し考えて試して遊ぶことを大切にする体験を生かした「やまほいく」に取り組んでいる。

③第三者評価を取り入れ保育サービスの質の向上

長野県福祉サービスの第三者評価基準（保育所）の考え方を取り入れ、基本的なマニュアルの整備が長野市全体で統一され運用されている。また、外部の福祉サービスの第三者評価の受審を中長期計画の中で計画されている。この取り組みは毎事業年度の事業計画の作成や「全体的な計画」と整合させ生かしている。保護者アンケートについても定期的に第三者評価のアンケート形式で実施されており、今回の受審によるアンケートと比較してもほぼ同様な結果であり信頼性ある結果となっている。「全体的な計画」の実施、検証、次年度への改善とPDCAサイクルが活かされている。職員研修についても園長研修会、主任研修会、特別支援研修、新規採用保育研修等体系化されている。第三者評価についての周知がされており、安茂里保育園全体で取り組んでいる。この成果として保育園では人事異動により長野市の各園に赴任する場合、統一された基準により運営されていることで安心して業務に取り組め保育園の運営について理念や基本方針に基づく保育サービスの質が確保されていると実感できる。

◇特に改善する必要があると思う

①園児が散歩で利用する道路の安全強化

安茂里保育園は長野市の中心から西の郊外にある住宅地に位置し、交通量も多い地域に立地している。また「信州やまほいく」の認定を受け、園外の遊園地に外遊びや近隣の公園への散歩に通園とは異なる時間帯や異なるコースに散歩に出かけている。平成31年5月に大津市で散歩中の大勢の園児が死傷する事故が発生した。安茂里保育園では、安茂里保育園から伊勢宮公園等の散歩コースの危険調べを実施し、危険箇所を洗い出し安全な散歩ができるよう取り組んでおり、保育士に周知されている。

その中で住宅地を通るため車の交通量の多く脇道が多い。道路を横断するが横断歩道が少ないなどの分析が行われている。横断歩道の設置など園児が利用する道路の安全について自治体、地域住民、警察、道路管理者が園児の安全のため積極的に取り組むよう働きかけることを期待する。

②外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実

利用者アンケートでは「外部からの侵入に対する安全な対策がとられていますか」の質問では「はい」が30%、「どちらともいえない」が42%、「いいえ」が23%、「わからない」が5%となっており、保護者からは防犯体制についての希望や要望が多く更なる安全対策の期待が高い。安茂里育園では不審者の対応を交番の警察官と相談しながら取り組んでいる。また不審者に対するマニュアルも整備され訓練も実施されている。通園時は入り口に園長が立って挨拶をすると共に安全確認を行っている。事務室は入り口からも近く不審者がわかりやすくなっている。保護者からは「基本的

には朝と夕方しか行けないので昼間どうなっているかわかりません」などの意見が寄せられ保護者の関心は高い。保護者の不安の感じている点を丁寧に聴き不審者訓練の様子や鍵などの安全対策について改善している点を保護者や地域に安心・安全の情報を更に密にして提供をすることを期待する。

③災害に対する休園等の考え方や基準の事前周知

長野市では台風 19 号の災害により甚大な被害を受け、長野市の保育園も洪水により被災した保育園がある。安茂里保育園では災害への対応として計画的に毎月の避難訓練（火災・地震）、消防訓練や安全点検を行っている。また引き渡し訓練も適切に実施されており、台風 19 号の時は引き渡しがマニュアルに従って実施されていた。

豪雨や台風、地震の災害時に休園する基準や臨時に休園する場合の判断基準について保護者等へは明示されていないと思われる。気象庁の警報や自治体の避難勧告、避難指示での保育所の開所・休園の在り方や職員の安全確保についての考え方・基準を保護者等にも事前に周知することを期待する。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添 1）

内容評価項目（別添 2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添 3 - 1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）

（令和元年11月27日記載）

今回、第三者評価を受けるにあたり、全職員で各種マニュアルの確認、長野市の保育理念や基本方針を基に園目標や計画に添った保育が進められているか、園内外の環境設定について園内研修を重ね、職員の意識・保育の質の向上につながる良い機会になりました。

特に良い点にあげていただいた「地域に根ざした保育」「自然を取り入れた『信州やまほいく』の取り組み」「第三者評価を取り入れ保育サービスの質の向上」については更に伸ばし、努力して継続していきます。

改善を必要とする「園児が散歩で利用する道路の安全強化」「外部からの侵入に対する安心・安全な情報提供の充実」「災害に対する休園等の考え方や基準の事前周知」は職員で話し合いや研修を積み重ね、自園だけでは解決できないことは保育・幼稚園課の指導を受けながらできることから取り組んでいきます。

保護者の皆様には、お忙しい中アンケートにご協力いただき、心温まるお言葉や、改善を望まれるご意見をいただきありがとうございました。また、環境・福祉事業評価センター様には自園の良い所や改善点を示していただきありがとうございました。

職員一丸となり今後も子ども達の為に、よりよい保育を目指し努めていきたいと思えます。